

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	入居者様の役割分担もできていて、職員と共に、時間の共通がなされていましたが、職員と一緒に食事ができる環境であれば、より家庭的な雰囲気期待できると思われる。	一人一人が自発的に参加できる食事環境作りと家庭的な団欒の場に近づける。	・食事の下準備や盛り付け、後片付けを入居者が自発的にできる声掛け ・食事場面では、職員も一緒に食事できる機会を多く設け、家庭的な団欒の雰囲気作りを行う。	6ヶ月
2	43	今後さらに自立に向けた、トイレでの排泄ができる事を期待する。	パット内失禁、放尿・弄便行為の軽減に努め、快適で自立した排泄支援に繋げる。	・個々の排泄パターンを再検討し、パット内失禁の軽減に努める。 ・放尿、弄便行為のある対象者の行動把握を行い、生活リズムに沿った声掛けと誘導で清潔保持に繋げる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。